

REーマテリアルコンペティション

素材からのメッセージ

明治大学工学部 小林正美

第一回課題材料
ガラス再資源素材

Re

リサイクル・リユース材料を積極活用したスペース・プロダクトのアイデアおよびデザインの募集
マテリアル
コンペティション
2004

ガラスのDNA

「Re」の時代に向けて

今、世の中はますます環境に配慮したリサイクル・リユースの時代です。来るべきサステナブル(持続可能な)社会のために、今まで用途に使われていた材料や資源を再び活用しようという動きは、社会全体のストックを見直し、将来の資源循環型経済社会に向けて様々な枠組みをリプログラミングすることが早急に求められていることを意味しています。一方、RE-マテリアルと呼ばれる再資源材料が次々に開発されているにも係らず、これらがデザインや機能の面で活発に実用化されている例は多くありません。本コンペでは、これらの材料を積極活用したアイデアを広く公募し、優秀な案については実用化の道を探ることを目的としています。今回の課題材料である「ガラス再資源素材」が持つ「ガラスのDNA」というべきものの特性を理解し、◎魅力あるスペースを成立させるための部位やエレメント ◎プロダクト(アクセサリ、トロフィー、照明器具など) ◎その他のアイデアなど 出来るだけ夢があり、かつ実現性のあるアイデアの提案を期待しています。

【2004年9月27日(月)9:00～10月4日(月)24:00まで(日本時間)】

■審査員長:安井 亨(国造大学副学長) ■審査員:井内匡具/目黒 浩代(筑波大学)/加藤聡(ガラス再資源化協議会)/小林 直弘(東京理科大学)/小林 正美(明治大学)/清家 剛(東京大学)/松岡 拓公雄(滋賀県立大学)/吉岡 徳人(デザイナー)ニアックス ■賞金:最優秀賞(1点 100万円)/優秀賞(3点 30万円)/特別賞(5点 10万円) ■主催:Re-マテリアルコンペ実行委員会
■後援:経済産業省/日本工学会/樹形子協会/エコレミアムクラブ/ガラス再資源化協議会/クリスタルレイ株式会社

●応募の要は入賞者に通知するにとり、「新素材」誌上およびOVERにて随時予定 ●応募方法:封筒等に必要書類を添付し、郵送。封筒裏面には必ず応募用紙に添付されたPDFファイルの応募用紙を以下のアドレスにメールで提出する。(PDFファイルの文字は0.5ポイント以上とする。データ容量は5M以内とする) ●作品提出先:〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 ●質疑:課題に対する質疑応答はできないが、応募要項、ガラス再資源材料などについての詳細はホームページを参照のこと ●著作権:従属権:著作権は応募者に帰属するが、入賞作品の公開に関する権利は主催者が保有する。実用化の機会には主催者が優先して知財権を行使する ●そのほか:入賞作品については、応募企業との連携、共同開発の道を探るのみ、社外関係に関するベンチャー的関係やアイデアも歓迎する ●Re-マテリアルコンペ事務局:小島 壽博(日本建築学会会長、日本設計/安藤 邦典(日本設計)/深沢 直樹(三宅建築事務所)/村松 健一(竹中工務店)/堀川 直文(東京電力) ●お問い合わせ:Re-マテリアルコンペ事務局 FAX:03-0000-0000/MAIL:〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

詳しい情報はインターネットホームページでご覧になれます。◎ <http://www.delphi.co.jp> <http://www.〇〇〇〇.co.jp>

資源循環型社会における 再生素材と人間をとりまく環境の意味を考える

1. 産業革命以前の自然素材

ローカル、少量生産、非専門技術、非均質、風土に直結

2. 工業化時代以降の加工素材

グローバル、大量生産、専門技術、均質、世界共通

3. 脱工業化時代の再生素材

ローカル、適量生産、一般技術、目的に対応

再生素材をテーマとしたコンペティションの意味

- 幅広い応用事例のイメージを共有する
(出口側のアプリケーション)
- 社会的ニーズから、新しい再生素材を探る
(マーケティング)
- サステイナブル社会の先導的なイメージの視覚化
(前衛・ファンの育成)

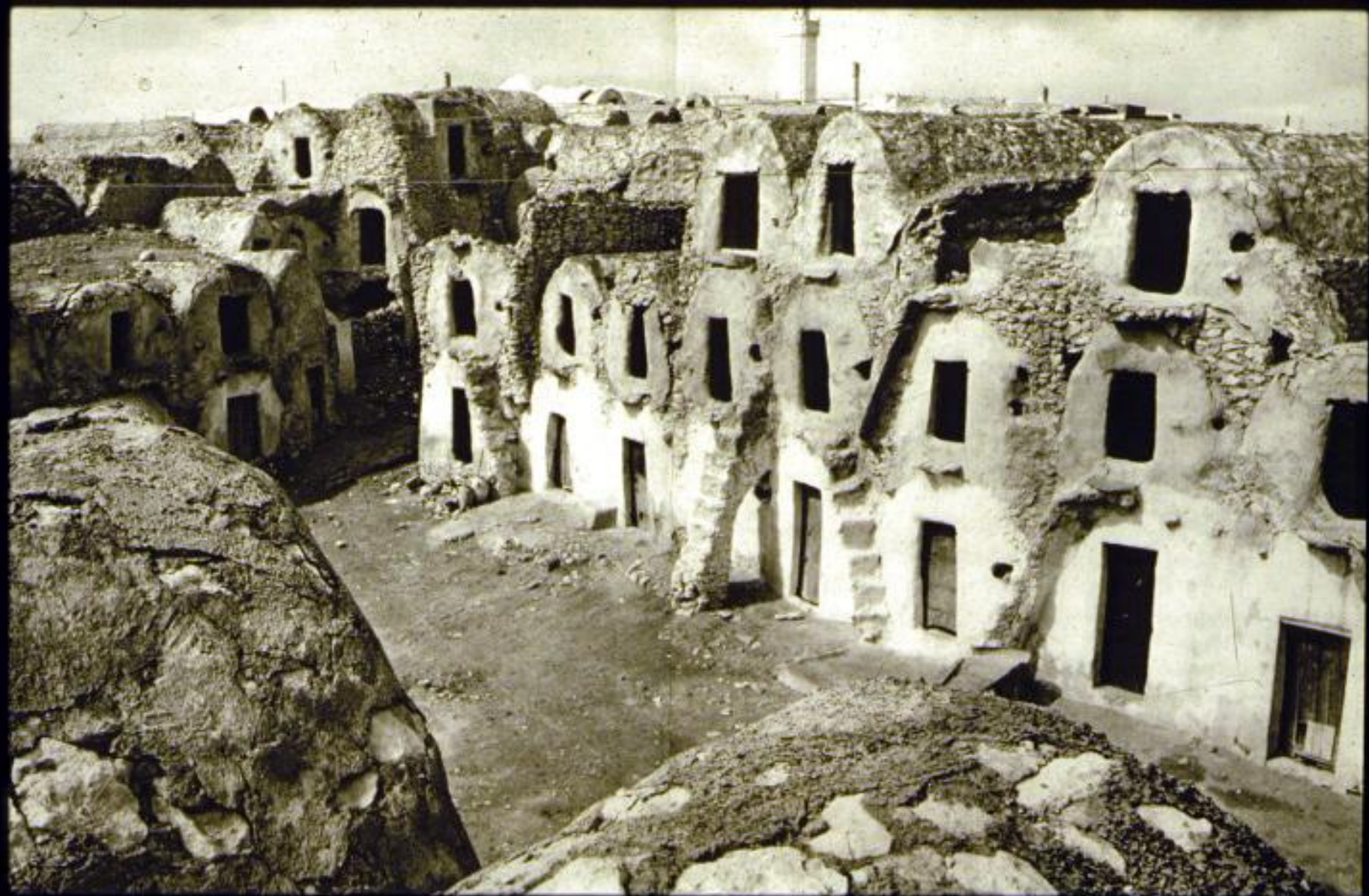
コンペティションの内容と目的

- 毎年、テーマ素材を変えながら、新しいアイデアやデザインを公募する（2004年度：ガラスのDNA）
- 実用化の可能性のあるアイデアについては、積極的に支援する
- 関心の高いデザイナーや学生のネットワークを図り、継続的な教育・研究を重ねる

人間は素材とどう関わってきたか？

まちなみと建築文化における素材の変遷



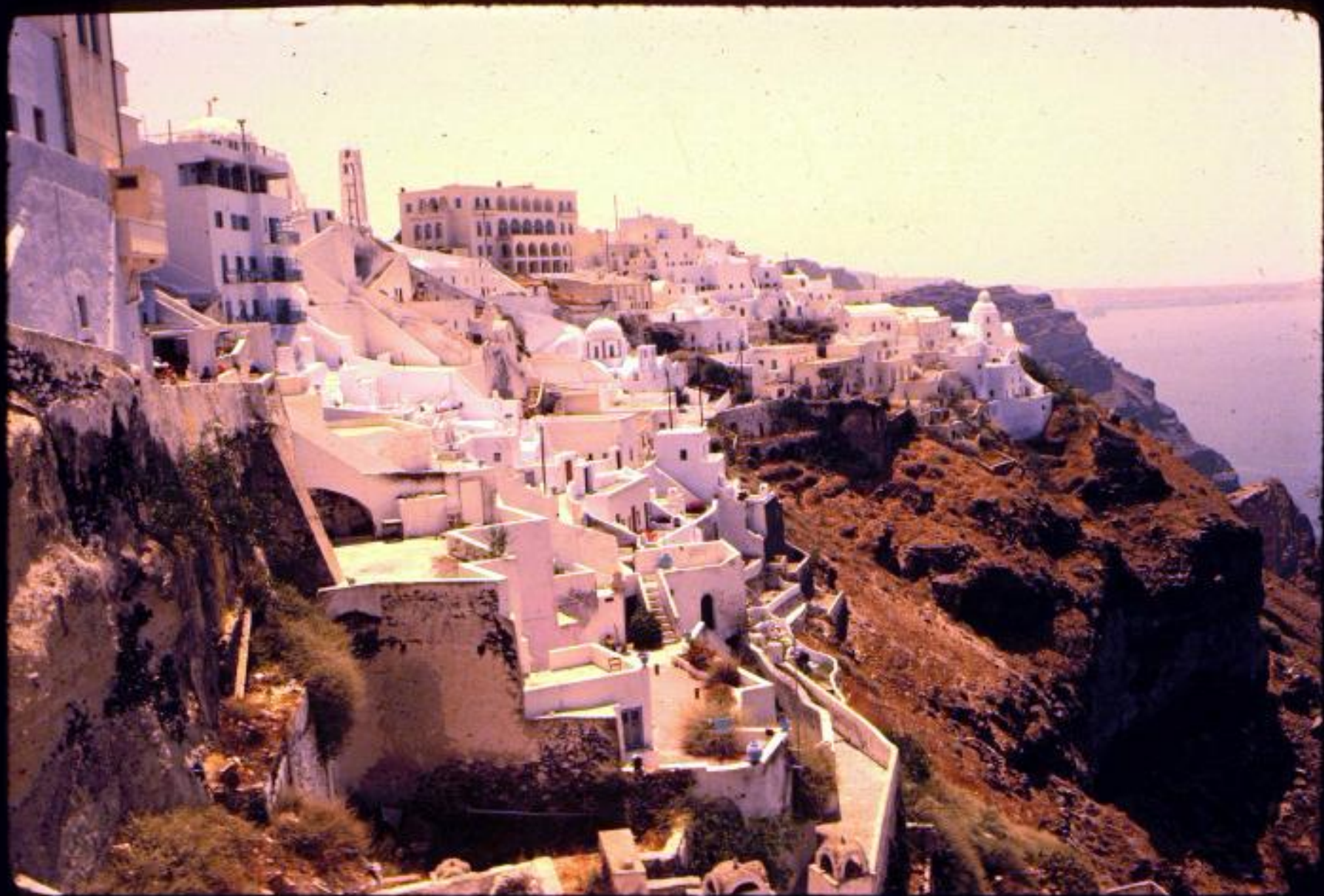








ΤΡΟΛΕΙΤΑΙ
025559
9332189





















妻籠宿



妻籠宿

妻籠宿



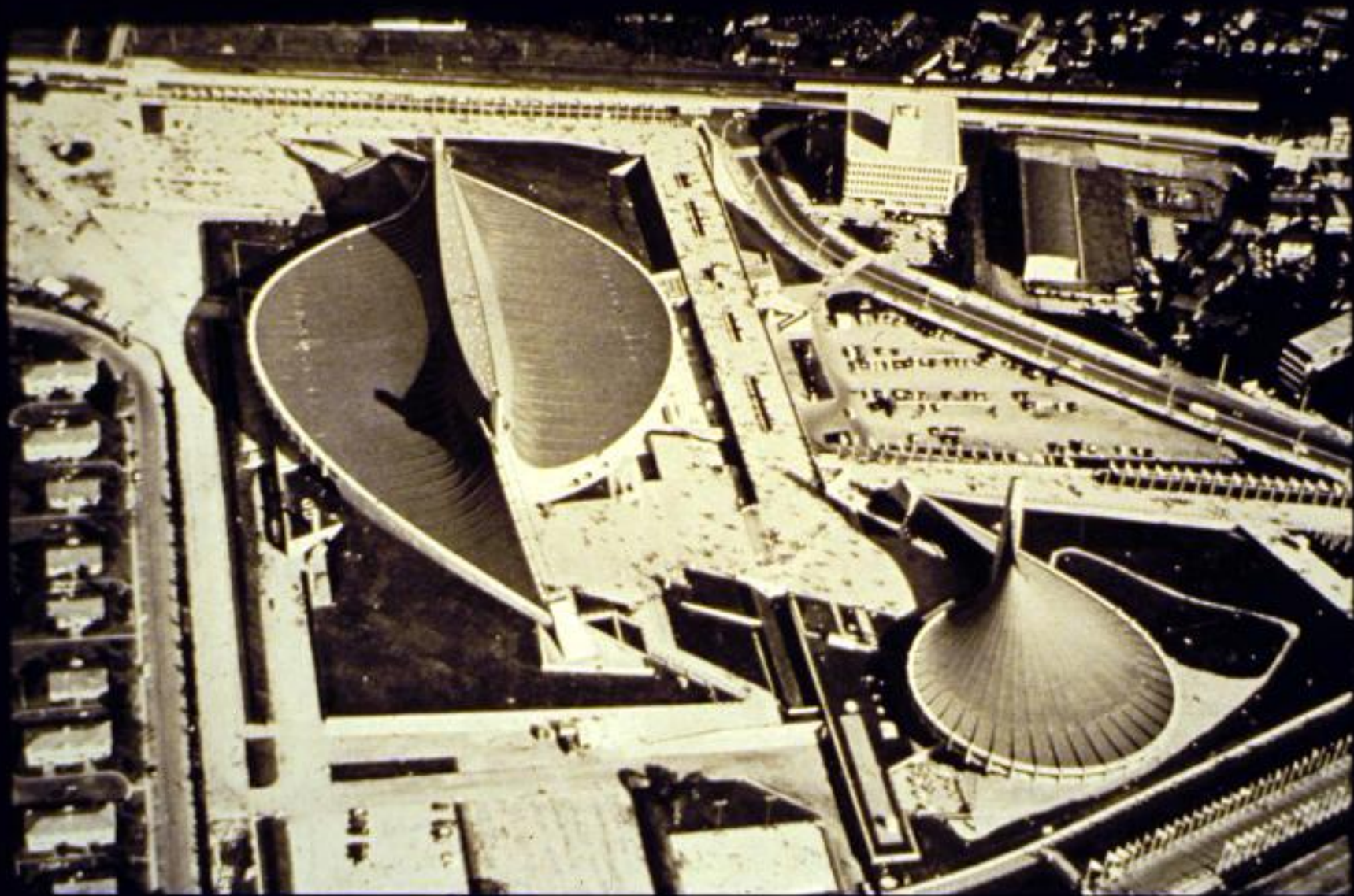


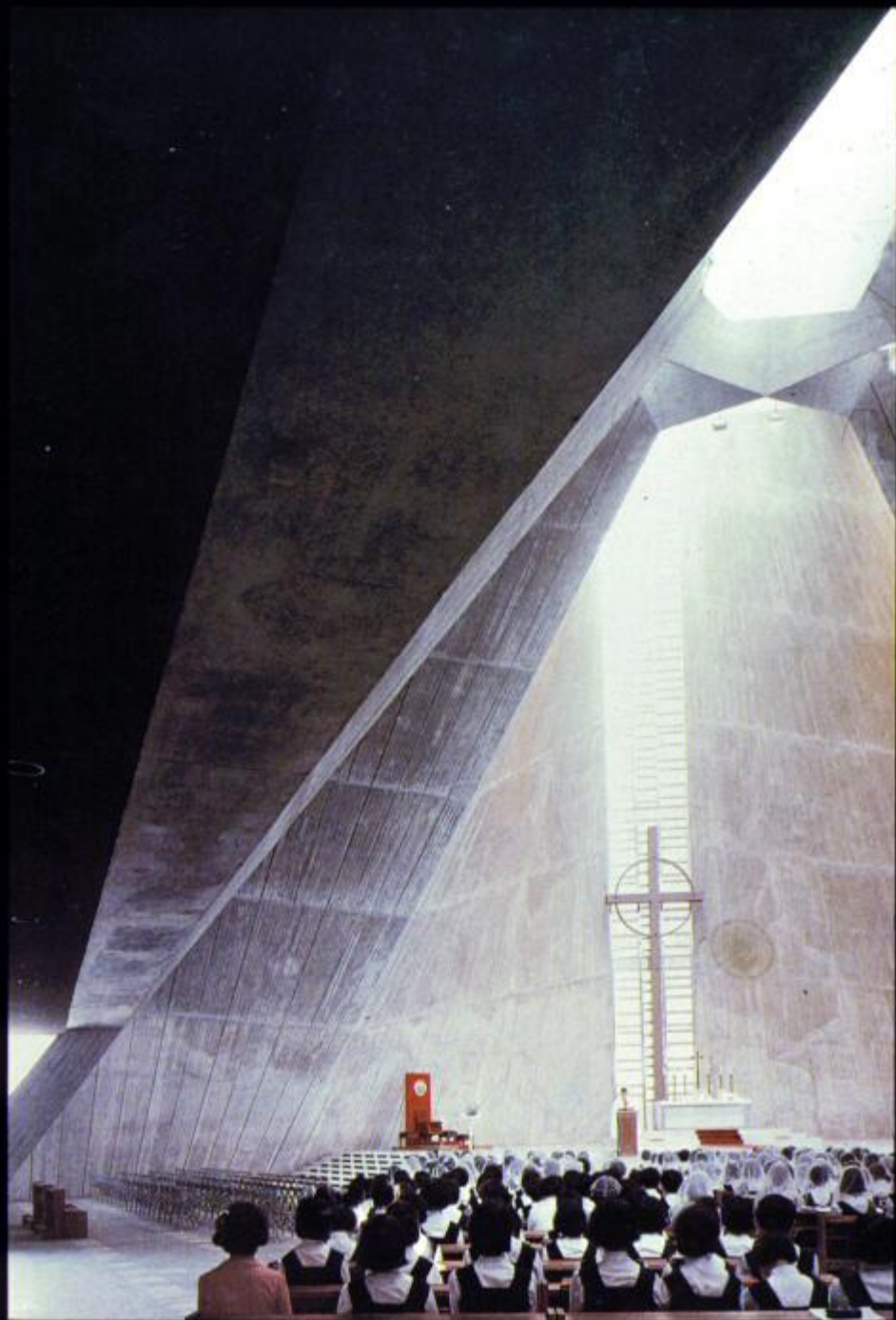












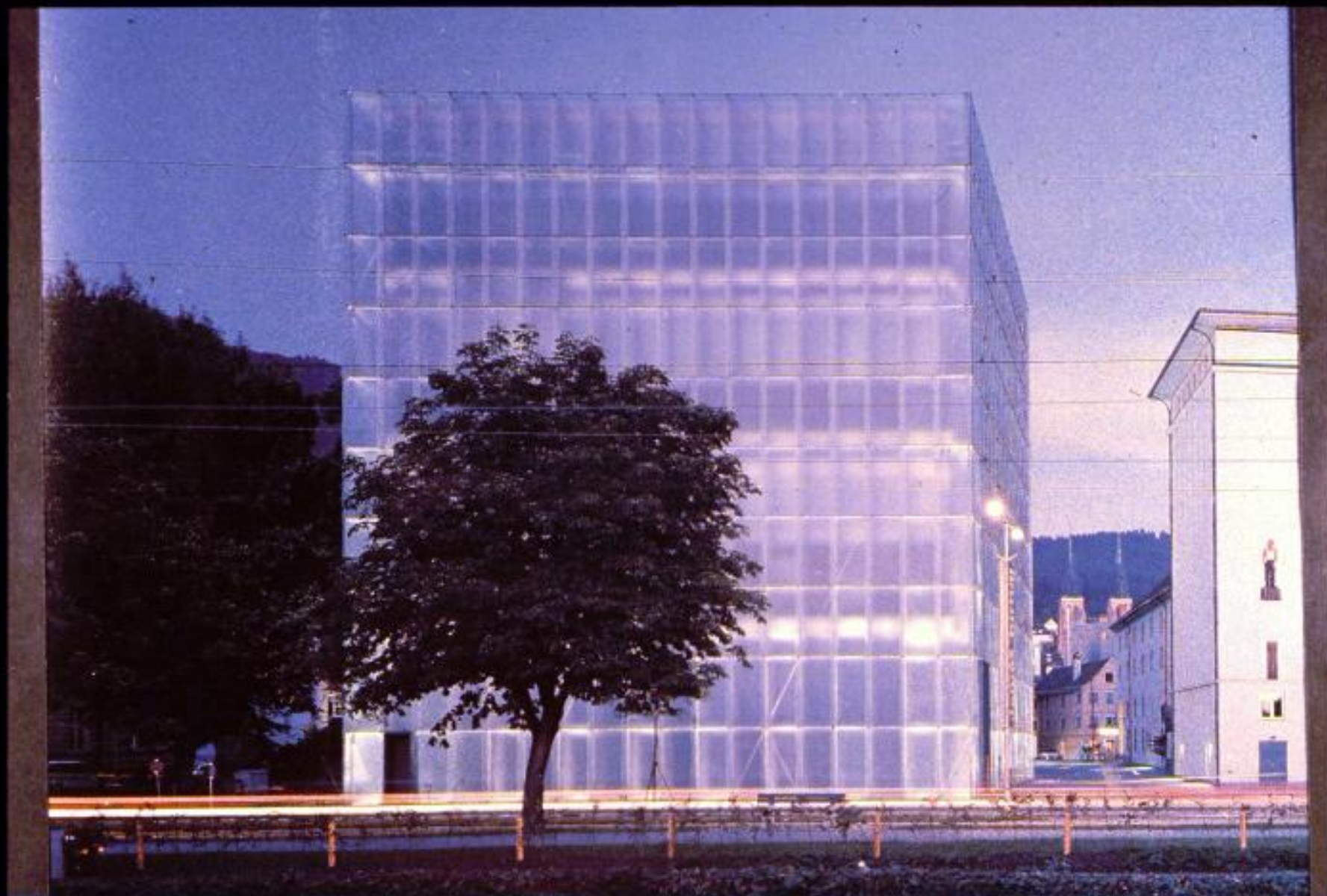


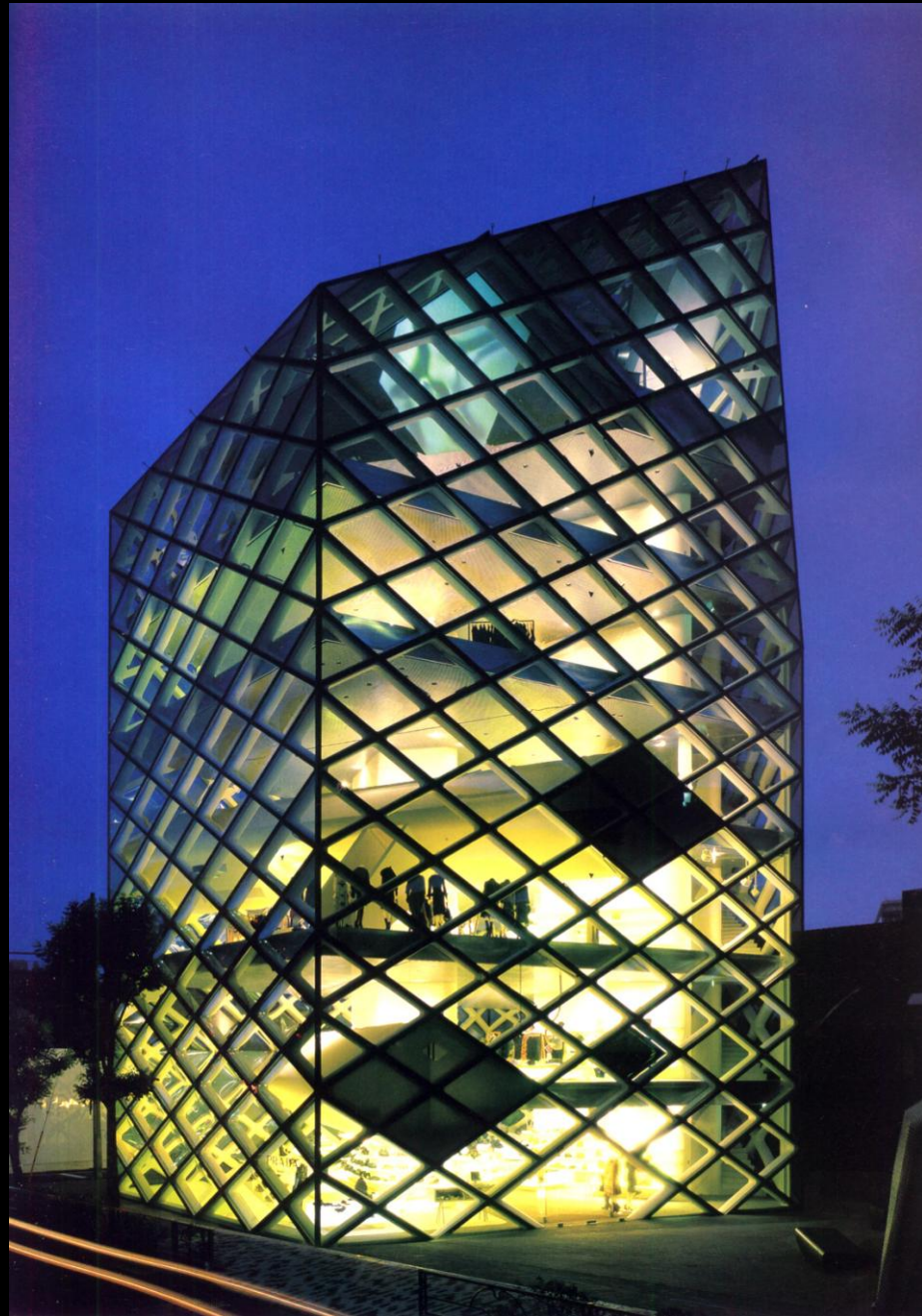




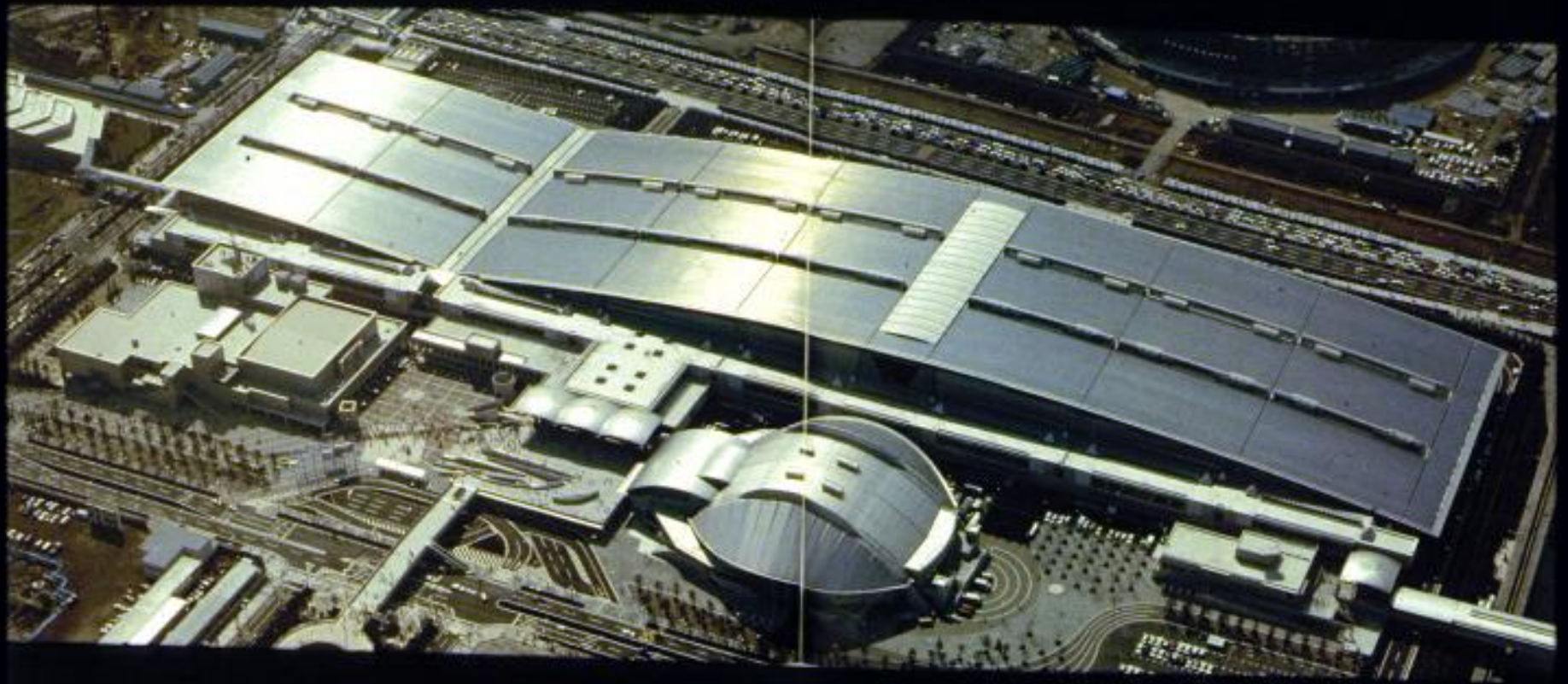














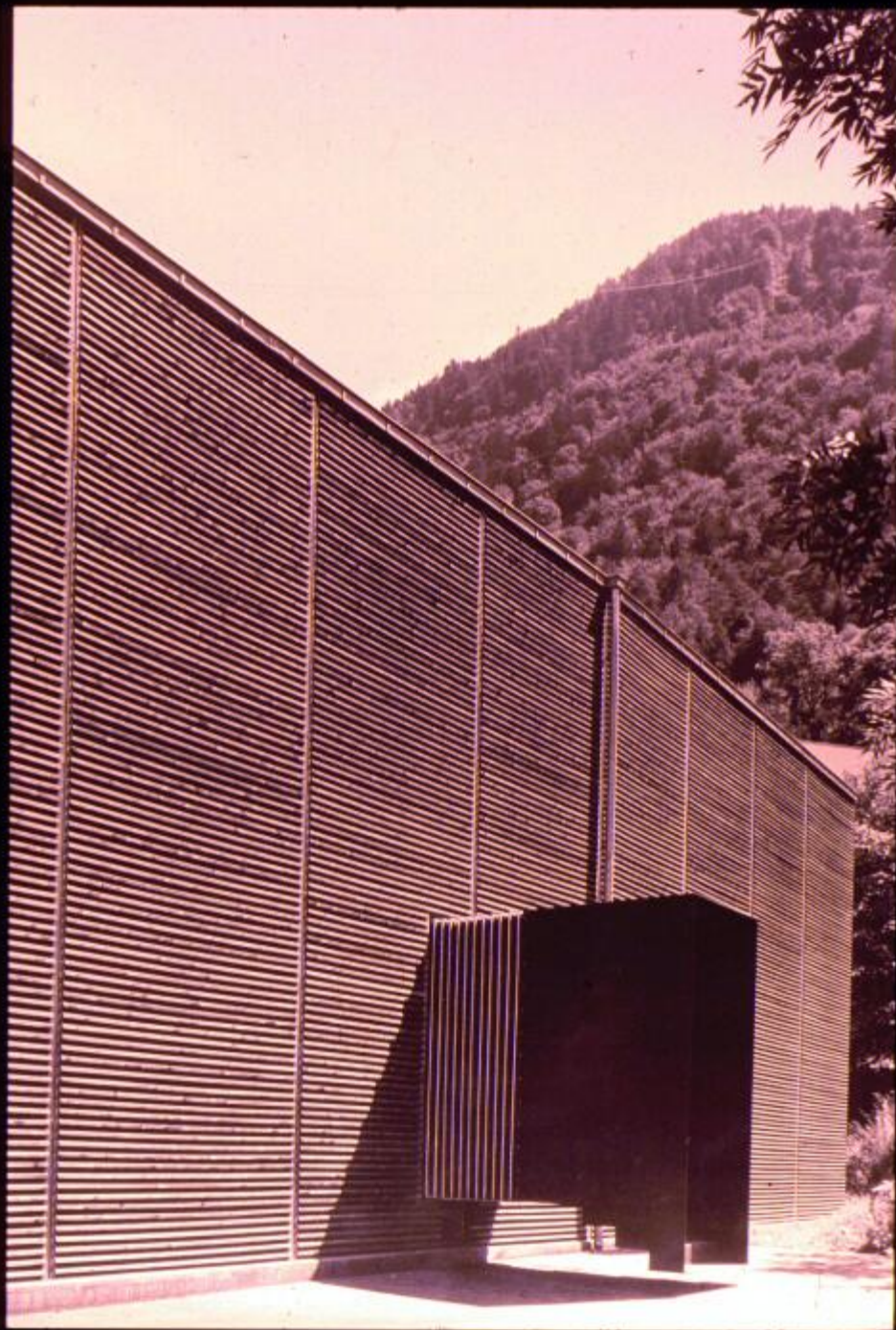










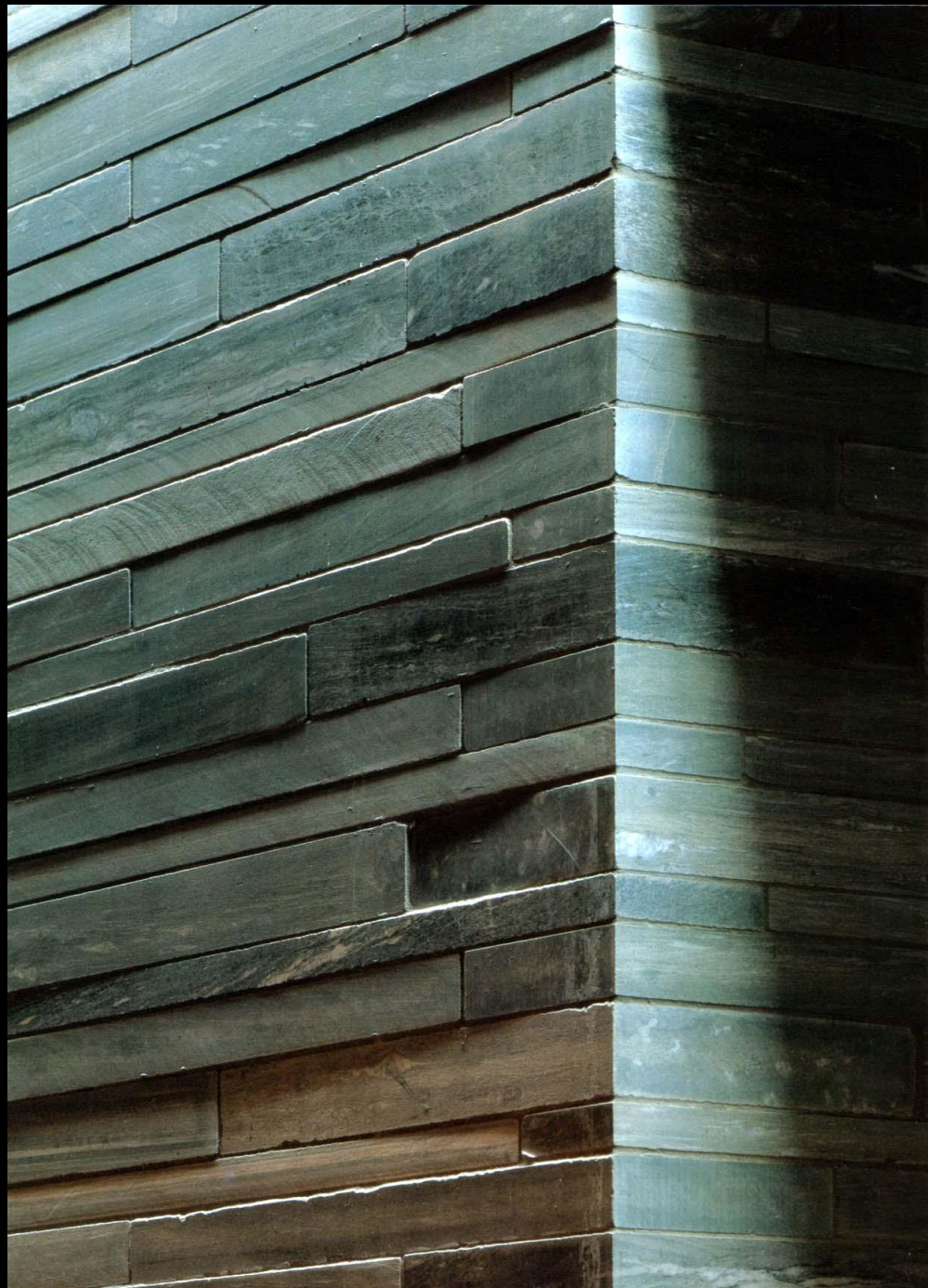








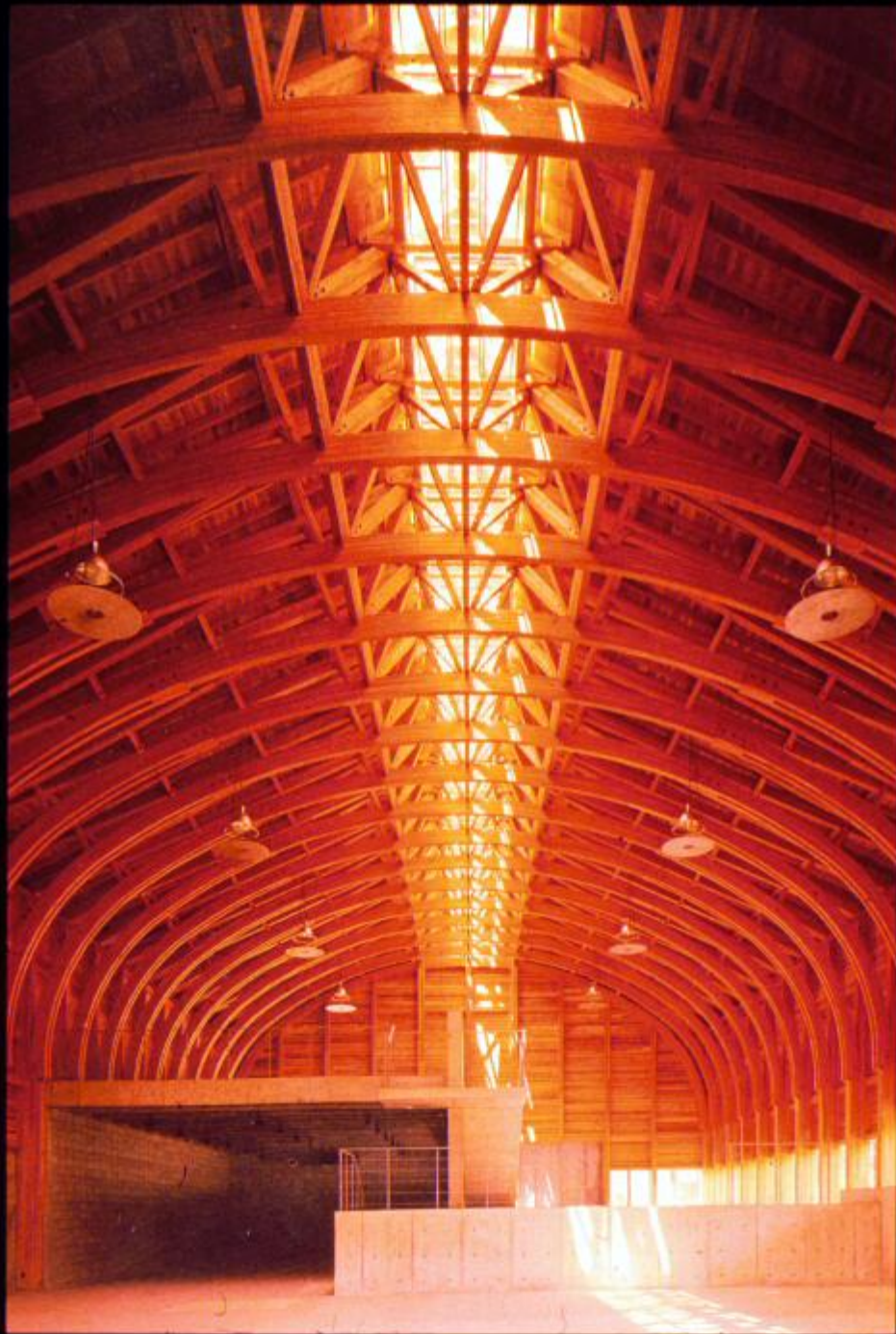












ガラスのDNAの先進事例



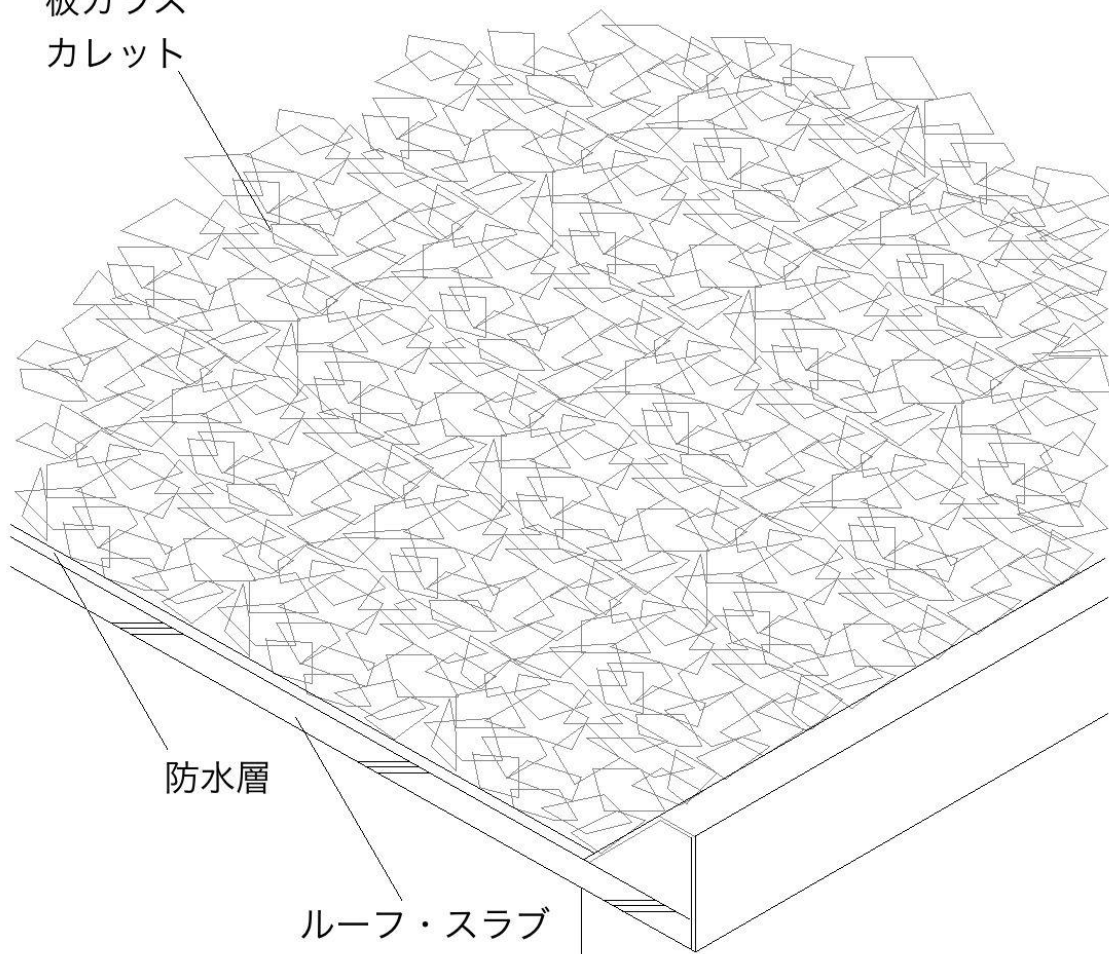
キルヒナー美術館

Annette Gigon & Mike Guyer ダボス・スイス / 1992





板ガラス
カレット



防水層

ルーフ・スラブ

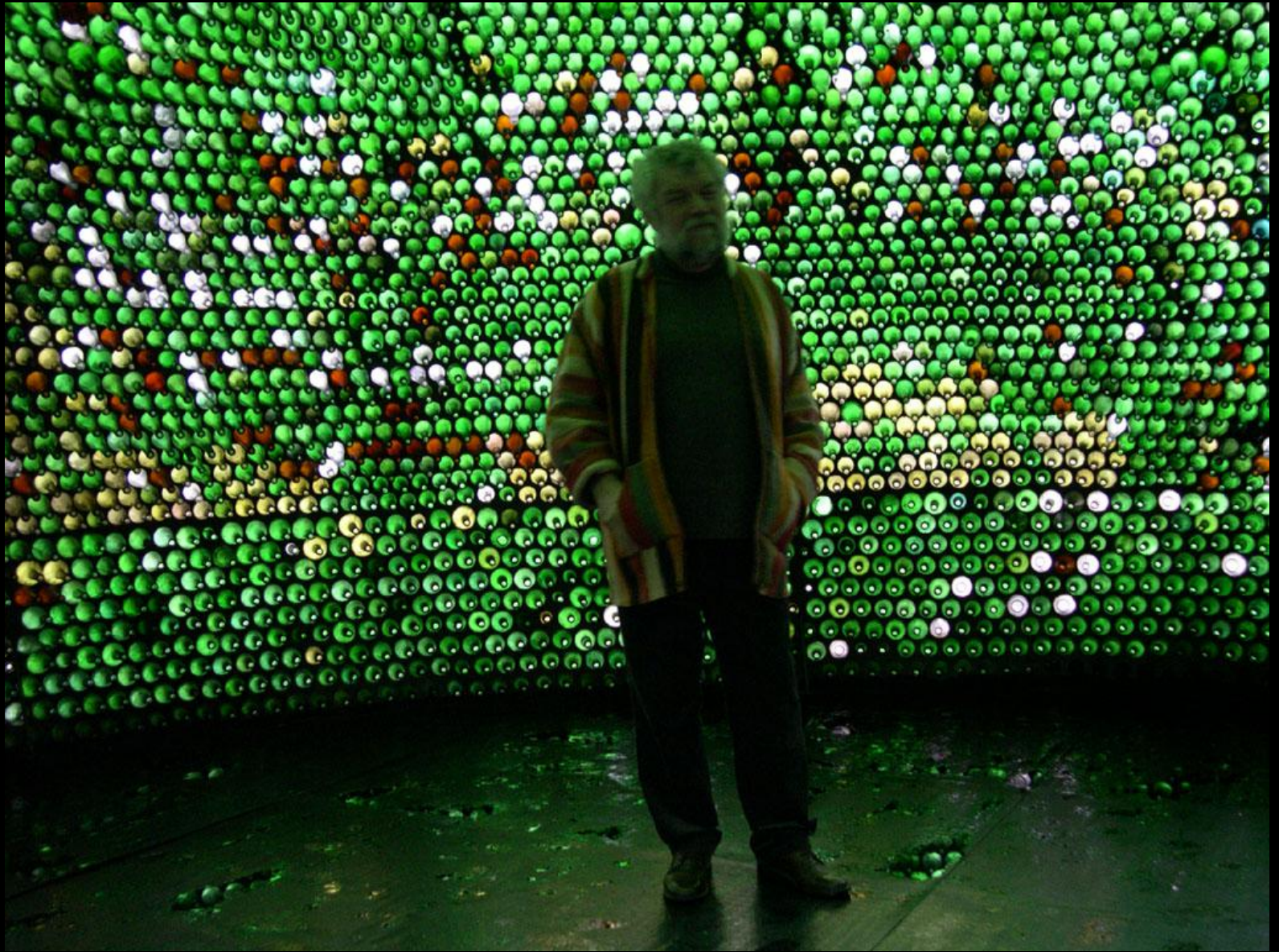


ボトルドーム

Wolfgang Becker アーヘン・ドイツ / 1980~1984



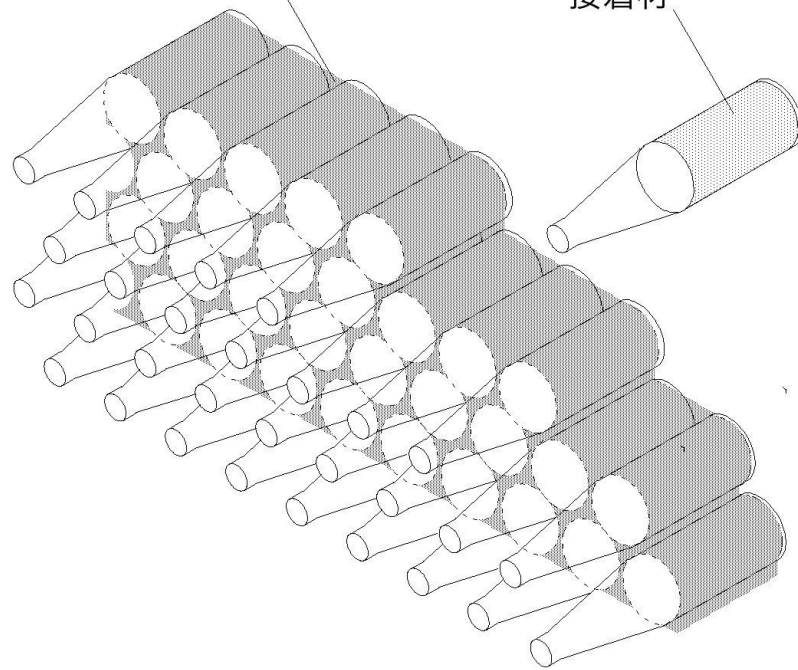


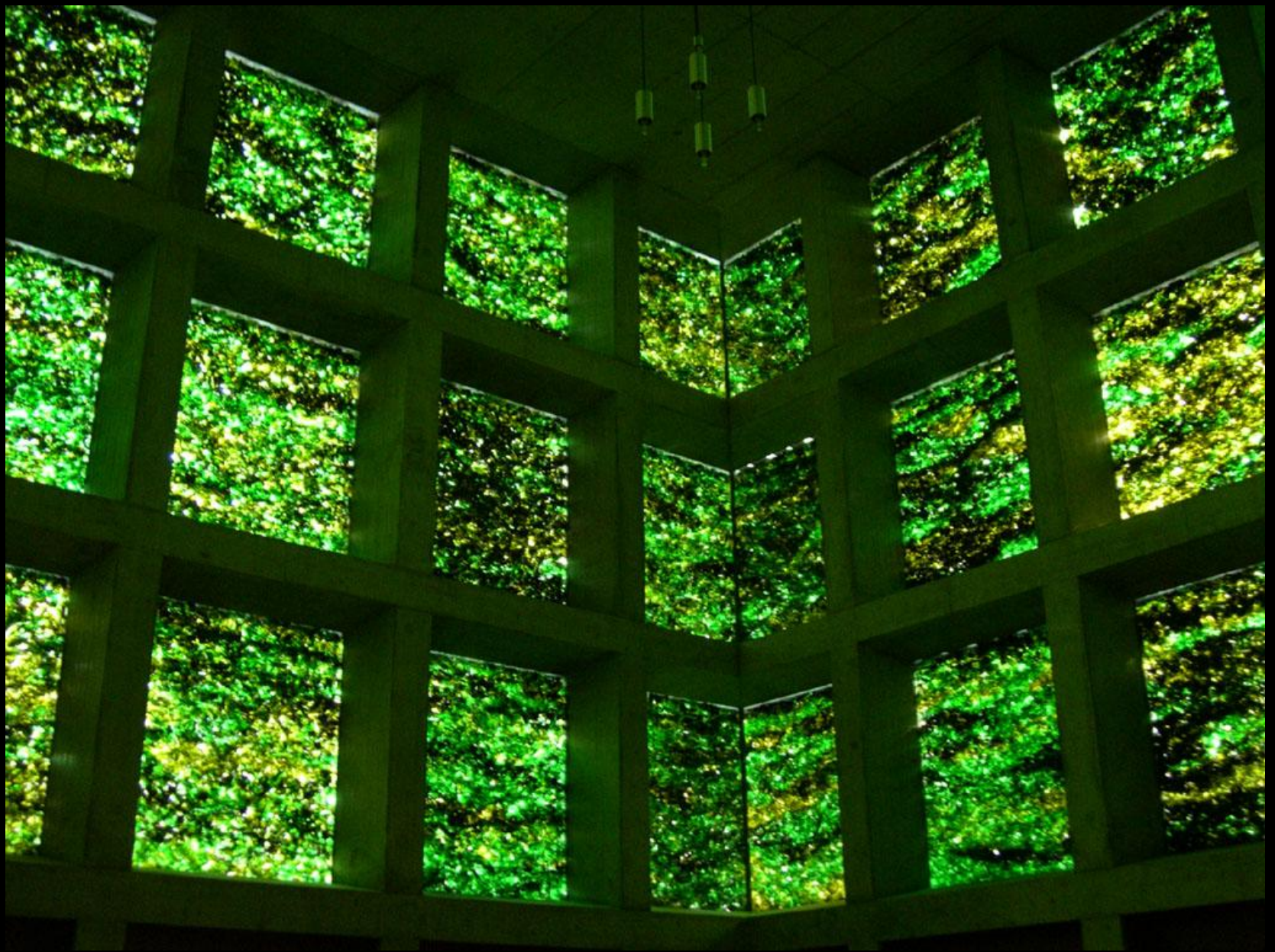




目地：モルタル

シート状モルタル
石英パウダー
接着材



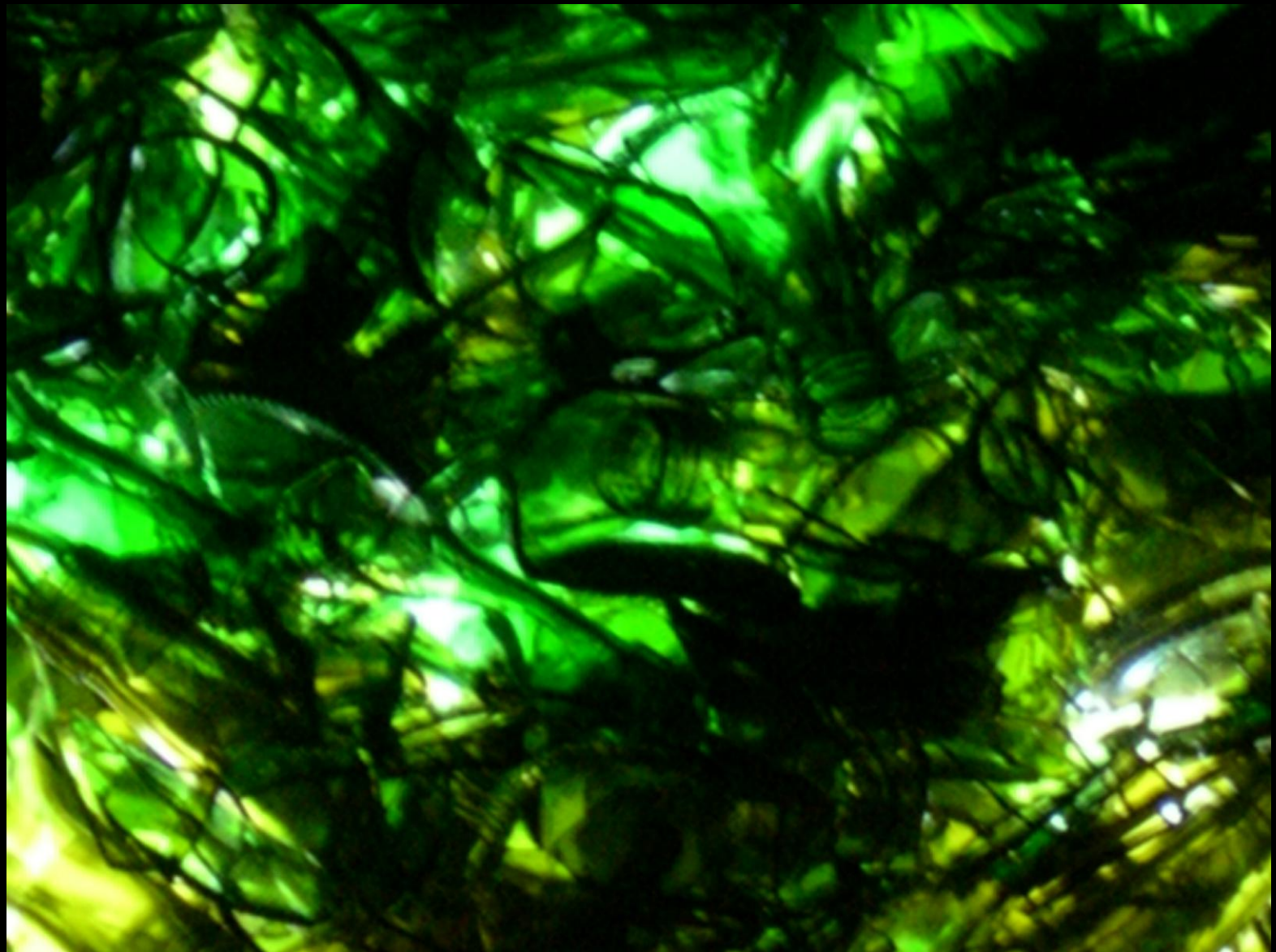


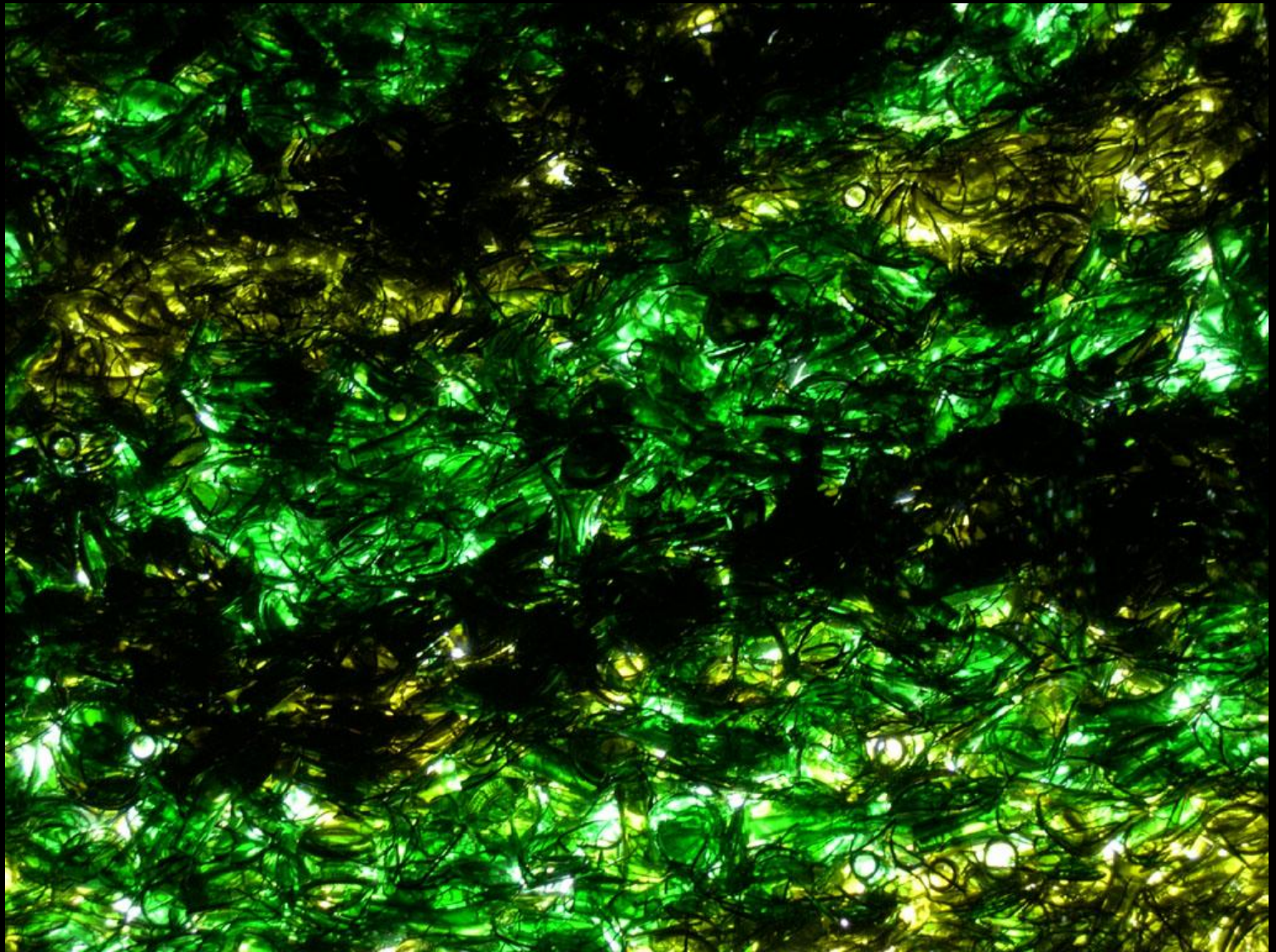
高速道路のチャペル

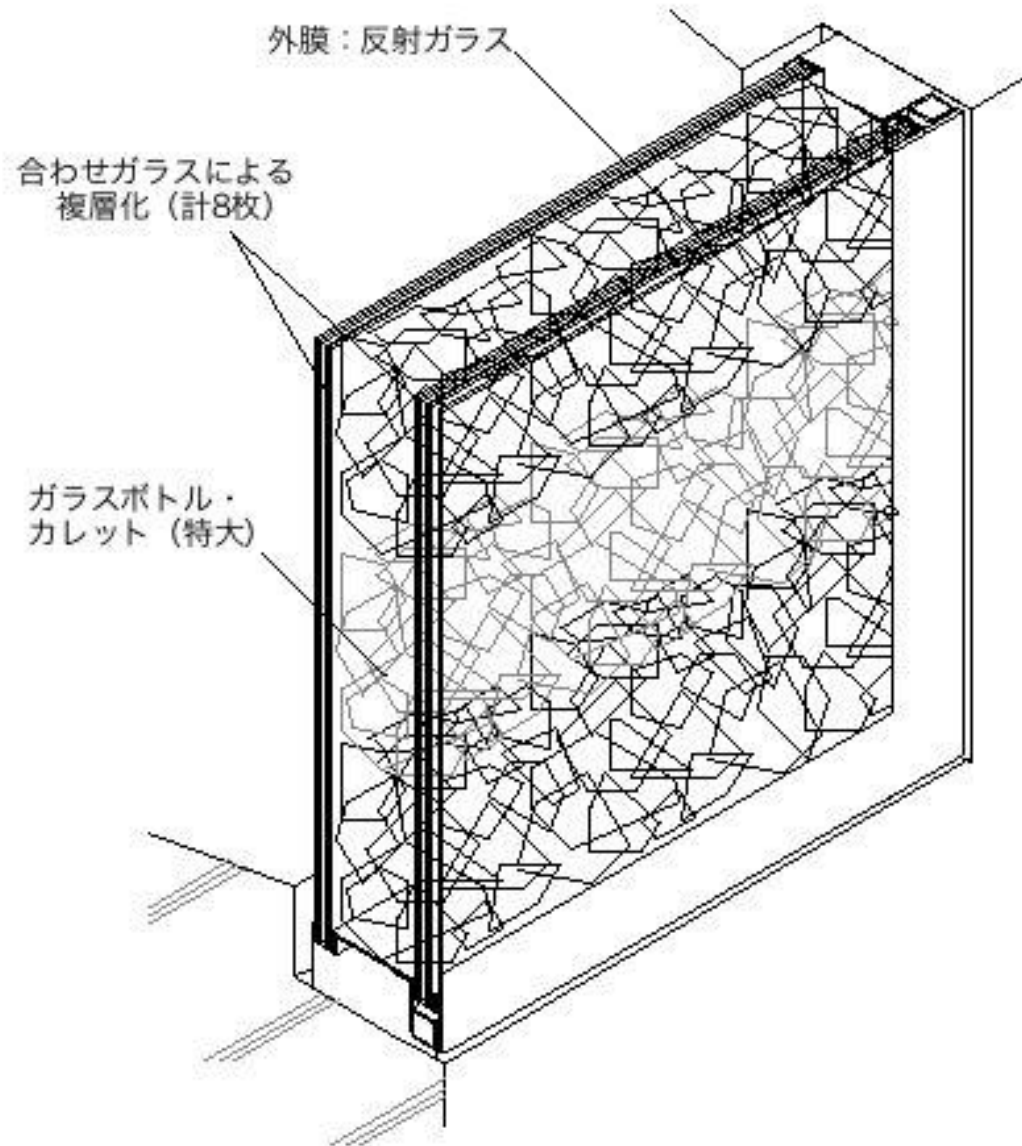
Pascale Guignard & Stefan Saner ウーリ・スイス / 1998











第一回課題材料
ガラス再資源素材

Re

リサイクル・リユース材料を積極活用したスペース・プロダクトのアイデアおよびデザインの募集
マテリアル
コンペティション
2004

ガラスのDNA

「Re」の時代に向けて

今、世の中はますます環境に配慮したリサイクル・リユースの時代です。来るべきサステナブル(持続可能な)社会のために、今まで他用途に使われていた材料や資源を再び活用しようという動きは、社会全体のストックを見直し、将来の資源循環型経済社会に向けて様々な枠組みをリプログラミングすることが早急に求められていることを意味しています。一方、RE-マテリアルと呼ばれる再資源材料が次々に開発されているにも係らず、これらがデザインや機能の面で活発に実用化されている例は多くありません。本コンペでは、これらの材料を積極活用したアイデアを広く公募し、優秀な案については実用化の道を探ることを目的としています。今回の課題材料である「ガラス再資源素材」が持つ「ガラスのDNA」というべきものの特性を理解し、◎魅力あるスペースを成立させるための部位やエレメント ◎プロダクト(アクセサリ、トロフィー、照明器具など) ◎その他のアイデアなど 出来るだけ夢があり、かつ実現性のあるアイデアの提案を期待しています。

【2004年9月27日(月)9:00～10月4日(月)24:00まで(日本時間)】

■審査員長:安井 亨(国造大学副学長) ■審査員:井内 隆典/目黒 祐代(筑波大学)/加藤 聡(ガラス再資源化協議会)/小林 直弘(東京理科大学)/小林 正美(明治大学)/清家 剛(東京大学)/松岡 拓公雄(滋賀県立大学)/吉岡 徳人(デザイナー)・ニアコウ★ ■賞金:最優秀賞(1点 100万円)/優秀賞(3点 30万円)/特別賞(5点 10万円) ■主催:Re-マテリアル コンペ実行委員会 ■後援:経済産業省/日本工学会/樹形子協会/エコプレミアムクラブ/ガラス再資源化協議会/クリスタルクレイ株式会社

◎応募:賞金は入賞者に送付するものと、「新素材」誌上およびOVERにて随時予定 ◎応募方法:封筒等に宛先を記載し、郵送(送料、封筒代等は応募者負担)またはPDFファイル宛先を以下のアドレスにメールで提出する。(PDFファイルの文字は0.5ポイント以上とする。データ容量は5M以内とする) ◎作品提出先:〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 ◎質疑:詳細に付する質疑応答はなし(但し、応募要項、ガラス再資源材料などについての詳細はホームページ参照のこと) ◎著作権:応募者は応募後に権利を放棄するが、入賞作品の公開に関する権利は主催者が保有する。実用化の場合には主催者側が権利を譲渡して知識伝達を行う ◎そのほか:入賞作品については、応募企業との連携において実用化の道を探るが、社外関係に関するベンチャー的関係やアイデアも歓迎する ◎Re-マテリアル コンペ 詳細は下記 URL 参照(日本建築学会会報、日経建設/安井 亨氏(日経建設)/深沢 嘉敏(三菱地所建設)/村松 健一(特許庁長官)/坂川 直文(東京電力ほか) ◎お問い合わせ:Re-マテリアル コンペ事務局 FAX:03-0000-0000/MAIL:〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

詳しい情報はインターネットホームページでご覧いただけます。 ◎ <http://www.delphi.co.jp> <http://www.〇〇〇〇.co.jp>